

Makuhari's Memory

59名の仲間との出会いに感謝

コロナ禍を経て、他自治体の取り組みの様子やインバウンドの最新状況を学びたいと、令和6年1月15日から19日まで「観光戦略の実践」研修を受講しました。

アカデミー到着後、手にした名簿に「代表幹事」とあり、寄稿依頼まで受け胃が痛くなりましたが、他の受講生の様子も寄稿文で伝えようと思い5日間過ごしました。

講師陣は各分野の最前線で活躍されている方々で、まさに学びたいと思っていたことを講義いただき、大変貴重な時間となりました。グループ演習の際、「講義の〇〇の部分が特に参考になった」など話題となり、得た知識はすぐに演習の資料作成に活用しました。

「役所は、観光振興に取り組む必要があるのか」「これまで実施してきた事業を止めるためにはどうしたら良いか」という受講生から講師への問いから、自治体規模や観光入込客数の数字に関わらず、悩みながらも日々業務に向き合っている受講生は、みんな仲間だと実感しました。

限られた時間で伝えたいことを伝えきる力、演習に臨む積極的な姿勢、分かりやすく説明しやすい資

料作成、情報収集のスピードなど、課題演習では仲間の能力の高さに触れ、講師からだけではなく仲間からも大きな学びを得ることができました。自分の転機と言える研修となりました。

最後になりますが、講師の皆様、アカデミーの皆様、ご協力いただいた受講生の皆様、応援してくれた職場の皆様、そして、家族に感謝しています。

ありがとうございました。



上野 幸子

岩手県一関市
商工労働部観光物産課主査
〈受講研修科目〉
観光戦略の実践
第37期第1組（令和5年度）

かけがえのない仲間と過ごした貴重な時間

令和5年度より文化振興業務を担っていますが、相談する環境が乏しく、過ぎ行く日々に漠然と不安や孤独感を抱いていました。そんな中、市町村アカデミー研修を勧められ、すぐに応募し、半袖の沖縄から真冬の千葉へ。そこには41名の同じ悩みを抱えた仲間が集い、熱心に議論していました。研修初日は緊張よりも妙にほっとしたのを覚えています。

本研修の最大の魅力は、何といても討議機会の多さです。ほとんどの講義中に討議時間が設けられ、しかも最前線でご活躍される著名な先生方に講評までいただけます。また、班ごとでも自分たちでテーマを決め、解決策を検討し最終日に発表するという課題が与えられました。その準備として、毎日顔を合わせ討議や資料作成を行い、皆夜遅くまで集中して課題演習に取り組んでいました。私自身も、受講生と意見交換する中で新たなアイデアが生まれ、大変刺激になりました。職場に持ち帰りすぐに実行できそうな戦略を豊富に学べたことは、大きな収穫です。

日常の業務から離れ、協力して課題を乗り越える。まさに苦楽を共にした仲間を得られたことは、今後

の公務員人生において貴重な財産です。自由時間でもお互いのまちの文化を紹介し合い、交流を深めることができました。最後に、福島県須賀川市の俳句文化の魅力を教えていただきましたので、アカデミー研修をテーマに詠みます。

「雪景色 卓いっばいの 名刺かな」

「研修の 恥かき捨てる 冬の汗」

「千葉集い 文化交流 春近し」



玉城 あゆみ

沖縄県糸満市
教育委員会教育生涯学習課文化振興係副主査
〈受講研修科目〉
文化芸術の活用による地域社会の活力の創造
第37期第1組（令和5年度）

Makuhari's Memory

海浜幕張駅前で食べた寿司の味は忘れません!

令和6年1月22日～26日の5日間で「行政のデジタル化の推進」が開講され、日本全国で取り組んでいるデジタルトランスフォーメーションの推進に課題を感じている56名が全国から集まりました。

私は令和元年に初めての人事異動で紙文化が残る福祉課から情報主管課へ異動となり、様々なギャップを感じながら日々の業務にあたっています。令和4年度に機構改革によりDX推進課へ課名が変わり、DXの波は押し寄せるが全庁的なDXはあまり進まず、もどかしさを感じていました。

参加するまでは、恥ずかしながらDXを推進する目的があいまいで、原課の職員に対しても明確な理由が示せていませんでした。各講義を受講することにより、今後来る少子高齢化社会による自治体職員の減少や地域課題の出現（2040年問題）に向けて今のうちからDXによってスマートな自治体を目指すことがわかりました。

DXの推進は未来のわが町や、子供たちの生活を豊かにすると思うと、一気に自分の使命感が強まりました。

課題演習班のメンバーは歳が近く、すぐに仲良くなれ終始和気あいあいとした雰囲気でした。取り上げるテーマや発表の方向性もすぐに決まり、スムーズに課題演習をすることができました。

最後になりましたが、1週間の研修に快く送り出してくださったDX推進課の皆様、講師の皆様、課題演習班の皆様、子供の面倒を見てくれていた妻に感謝申し上げます。

いつかまた一緒に寿司が食べれる日を楽しみにしています。



伊藤 伸志

愛知県東浦町
企画政策部DX推進課DX推進係主事
(受講研修科目)
行政のデジタル化の推進
第37期第2組 (令和5年度)

一期一会、出会いの奇跡に感謝

令和6年能登半島地震の発災から間もない時期、受講当時、被害の全容把握ができていない状況の中ではありませんでしたが、研修に送り出していただいた上司、同僚、家族には心からお礼を申し上げます。

「児童虐待防止対策」研修の講義、演習内容は充実しており、講師の方々には基本的なことから最新の情報まで丁寧にレクチャーしていただきました。すべての基本が「子どもの最善の利益」であり、子育て支援、虐待対応の大きな指標であることを再認識しました。また、課題演習は毎日討議を重ねることで、新たな視点や発想のヒントを得ることができ、大きな成果となりました。今後の業務遂行につなげ、社会全体のウェルビーイングを目標とした取組となるように努めていきたいと思えます。

日本全国から集結した受講生と、情報や意見を交換するうちに、みな同じ課題があり、同じ悩みを抱えていることがわかりました。自治体の規模、おかれた環境や立場にそれぞれ違いがあるものの、みな熱意に満ちた同じ志を持った「同志」であり、

心強い存在でありました。共に学んだ同志たちから多くの刺激を受け、自身の励みにもなりました。SNSの普及で、画面越しで手軽で簡単につながりが持てる時代ではありますが、顔と顔を合わせて会話を交わすことで、人と人がつながる心地よさや温もりを改めて感じることで、出会いの奇跡に感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりましたが、アカデミーの運営にご尽力いただいた職員様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。



牧 悟

石川県小松市
こども家庭部子育て支援課主査
(受講研修科目)
児童虐待防止対策
第37期第1組 (令和5年度)